

# 2019年度緩和ケア部会 ピアレビュー

WG2

横浜市立大学附属病院・横須賀共済病院

藤沢市民病院・横浜南共済病院

湘南鎌倉総合病院・済生会横浜市南部病院

施設名	湘南鎌倉総合病院
最も評価されたポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・がんに関連する組織がハード面で集約されている</li><li>・依頼状況が電子カルテで共有化されている</li></ul>
早めに対策を講じたほうが良いと指摘されたポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・緩和ケアチーム専従医師(身体症状専従医師・精神症状専任医師)の不在</li><li>・専従の看護師不在</li><li>・7:1看護体制NSでは指導管理料の算定が取れない</li></ul>
他施設でも導入が可能な工夫や取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンコロジーセンター内に治療関連資材やパンフレットが多数あり、患者への情報提供がされている</li></ul>

あなたのWG全体で一番課題とされた点はどういう内容ですか。二つ挙げてください。次回部会の話し合いのテーマの参考にします。

#### 緩和ケア研修会をどうしていくのか

- 受講生が研修医主体になる場合に必要なマンパワーの確保  
→ 年に何回か集合研修を県が主催するなど、共催できるようなシステムにはならないのか
- 非がんを診療する医師にも有意義な研修にするには
- 多職種が参加する研修にしていくには

#### 緩和ケアに携わる人員の不足について

- 緩和ケア医の不足、人材育成(県の事業として緩和ケア医の育成について協議する場を作る。自治体が育成施設に助成金を出す、ポスト作りなど)
- 看護師や薬剤師の育成体制の情報へのアクセス、近くで資格取得ができる体制
- 資格を取得したメディカルスタッフの病院での配置の問題